

5章 名詞句 (名詞構文)

問題

【1】

A.

全訳

教育を受けるということは、自分の意図を現実の世界において実現させる方法、つまり知識を自分の生活と自分が生活している社会に応用する方法をある程度理解することをも意味する。教育の目的は知識の利用法を習得することである。

B.

全訳

医学上の発見と大衆の受け入れとの間に見られる隔たりの例は多数あるが、喫煙は健康に重大な危険を及ぼすという証拠を、今日の大衆が受け入れず、またそれに基づいて行動していないということほど顕著な例はなかった。

C.

全訳

実社会には、最も賢明な人でも学びきれない多くのことが常に存在する。しかし①人が賢明であることのしるしは、この事実を認識していることであり、また自分に与えられた機会を最大限に活かそうとする気持ちを持っていることである。聞き上手な人は、読み上手な人と同じように、自分の知力の使い方を知っているだけでなく、自分の考えを変える方法も知っている。②この2つのうちの前者ほど楽しい行為はなく、後者ほど気高いことはない。

D.

全訳

人間は社会的な生き物であるということをすべての人が認めるだろう。このことは、人間が1人であることを嫌い、自分の家族とのつきあいを越えて人とのつきあいを求めるということを見ればわかる。

【2】

解答

- (1) 「全訳」の下線部①～④参照。
(2) ① c ② d ③ d ④ a
(3) a, d, f, h

解説

(1)

①◇ What makes it complicated, however, is ... の第2文型。

S

V C

○ What makes it complicated 「それ〔森林を守ること〕を複雑にするもの」

- make O C 「OをCにする」
- complicated 「複雑な」
- however 「しかしながら」
- ◇ the widespread ignorance of forest science 「森林科学に対する広範囲の無知」《直訳》
- ◇ an unwillingness to face the political issues that bring about forest damage and destruction today 「今日の森林の損失と破壊をもたらす政治的問題に直面したがいらないこと」
- unwillingness to *do* 「…したがらないこと」
- face 「～に直面する」 *vt.*
- bring about ～ 「～をもたらす」
- ③◇ on the basis of ～ 「～に基づいて」
- ◇ the idea that ～ 「～という考え」
- the idea と that 節は同格
- ◇ skillful application of technology 「科学技術の熟達した応用」
- apply technology skillfully の名詞表現。
- application 「応用」 *cf.* apply *v.*
- ◇ result in ～ 「～に帰する；結局～ということになる」
- ◇ a fine environmental organization that produces the goods and services demanded by its human masters 「主人である人間から要求される品物やサービスを生み出す素晴らしい環境的組織」
- environmental 「環境の」
- organization 「組織」
- that : a fine environmental organization を先行詞とする関係代名詞。
- demanded : the goods and services を修飾する過去分詞。
= the goods and services which are demanded by ～
- ④◇主格補語になる名詞用法の *to* 不定詞句。
 - ◇ make O *do* 「Oに…させる」
 - ◇ leave things alone 「ものごとを放っておく」
 - leave O alone 「Oを放っておく」
- ⑤◇ Every developed nation must recognize that ～ 「全ての先進国は～ということを認めなければならない」文末までが *that* 節。
 - ◇ debate 「議論」
 - ◇ futile 「無益な」
 - ◇ the controllers and the preservers 「支配論者と保護論者」
 - ◇ … rather than looking for ～ 「～を探すよりもむしろ…」
 - A rather than B 「BよりもむしろA」
 - ◇ opportunities for both economic stability and environmental quality that could be achieved with management and care based on modern science 「現代科学に基づいて注意深く統御すれば達成できる、経済的安定と環境の向上の両方の好機」

- both A and B 「AとBとの両方」
- stability 「安定」
- that : both economic stability and environmental quality を先行詞とする関係代名詞。
- could : with 以下に条件を含む仮定法過去。
- management 「①経営；管理 ②取扱；統御 ③やりくり；手際よさ」

(2)

①ここでの business は「干渉する権利」の意味。

cf. None of your business. 「余計なお世話だ。」

- a 自然をコントロールしようとする方法がない
- b 自然をコントロールしようとする時間がない
- c 自然をコントロールしようとする権利がない
- d 自然をコントロールしようとする金がない

② chaos [kéi:ɔ:s] 「混沌」

- a 安定した状態
- b 先の予想がつく状態
- c 破壊的な状態
- d 先の予想がつかない状態

③ただ自然に起こることを見るのを待っている → 特に何もしない、ということ。

- a いいことを何もしない
- b 間違えたことを何もしない
- c 害になることを何もしない
- d 特に何もしない

④ここでの question は「～に疑念を抱く」の意。

- a 森林や種を守る効果が効果的かどうかを疑う
- b なぜ森林や種を守る効果が効果的なのか理解する
- c いつ森林や種を守れば効果的なのか尋ねる
- d 森林や種を守るがどのように効果的なのか確かめる

(3)

a 著者は自然は変化しないようにしておくべきだという考えを拒絶する。

○ l. 22 Attempts to leave any natural system unchanged are basically wrong. に合致。

b 著者は自然体系は機械に似ているべきだと主張する。

c 著者は自然界の保護よりも経済成長を強調する。

d 著者はいかに人間が自然に対処すべきかに関してどちらの極論にも賛成していない。

○ 第4段落、特に最終文 The new world needs to make a better use of land in accordance with natural tendencies so as not to cause huge costs or losses. の内容から、両方の意見を融合した考えを著者が持っているということがわかる。

e 著者は人間の支配下に置くために自然界を変えなければならないと考えている。

f 著者によれば、動物と植物を保護区にとどめておくのは、良い解決法ではないかもしれないということである。

○最終段落で取り除かなければならない科学的神話の例として挙げられている。

g たいていの森林学者は少数の植物や動物の種を失っても問題ないと考えている。

h 著者は木の伐採は必ずしも熱帯雨林の破壊の原因ではないと考えている。

○最終段落で取り除かなければならない科学的神話の例として挙げられている。

- i 著者は現代科学は我々が直面する環境問題の解決には役立たないと信じている。
- j 著者は多数の木の伐採が熱帯雨林の破壊をもたらしたと信じている。

全訳

森林保護は現代社会における重要課題の1つである。①しかしながら、森林の科学に関してほとんどの人は無知であり、また、今日森林に損失を与え破壊をもたらしている政治問題に人々が直面したがないため、この問題は複雑になっている。このことは、人類と森林との正しい関係に関する2つの相反する姿勢と関係しているが、そのいずれもが現代科学と対立する類似の世界観に基づいている。

1つの極端な意見として、自然は人間が使うためにのみ存在し、人間こそが自然界をコントロールできる、いやすべきである、と信じている人々がいる。②数世代に渡り、科学者たちは、科学技術を巧みに応用することにより、主人である人間の望む物やサービスを生み出す素晴らしい環境がもたらされるだろう、という考え方に基づいて研究をしてきた。科学技術を森林に応用することにより滅びる種は、ほとんど、あるいは全く価値がなく、考慮するに値しないと主張する人もいる。たいていの森林学者はそんなに楽観的ではない。森林の全ての種は、たとえ少数の種でも、重要になりうるのだということを、彼らは科学の知識からわかっている。

もう一方の極端な意見としては、人間には自然をコントロールする権利が全くなく、③環境問題解決の最も良い方法は、ものごとに人間の手をかけさせないでおくことであると信じる人々がいる。こうした見方の大部分は、自然は人間によって破壊されなければ、バランスのとれたリズムで動き続ける秩序ある完璧な機械であると自然を見なす科学的見解に基づいている。

今日の科学者たちの知識は、「自然コントロール説」も「自然バランス説」のどちらも拒絶する。物質界とその現象を秩序ある機械と見なす代わりに、今日の科学者たちは基準としてのいわゆる「無秩序」ということを口にする。大規模な変化は自然にとっては例外ではなく法則なのだ。何らかの自然体系を変化させずにおくことは基本的に間違っている。人間とその要求を環境に適応させることは、この絶え間ない変化と共に生きる方法を学ぶという課題になる。自然に起こることをただ待っているのは、もはや選択のうちには入らない。新しい世界は、大きな犠牲や損失を生じさせないように自然の傾向に従いながら国土をより有効に利用する必要がある。

環境問題における重要課題は、人々が21世紀の情報に基づいた考え方を採り入れられるように、科学的、政治的神話を取り除くことである。それは容易なことではなであろう。熱帯雨林の破壊は樹木の伐採の問題とは違う、と言明するのは、広く流布した神話を攻撃することになる。天然資源保存地域を作ることによって森林や種を保護することの効果に異議を唱えるのは、今日の環境保護活動の原則の1つを攻撃することになる。④今日の環境問題の議論のほとんどは、現代科学に基づいて注意深く統御すれば達成できる、経済的安定や環境の向上のための好機を求めるよりも、いまだ統制論者と保存論者との間の無益な戦いに明け暮れているということ、すべての先進国は認識すべきである。

注

- ℓ. 1 ◇ saving forests 「森林を保護すること」《主部になる動名詞句》
- ℓ. 4 ◇ opposite 「正反対の」
◇ attitude 「姿勢；考え方」
- ℓ. 5 ◇ both of which come from similar world views that conflict with modern science 「そしてその両方が現代科学と衝突する類似した世界観からきている」
○ two opposite sets of attitudes に補足説明を加える非制限用法の関係代名詞節。
< and both of the two opposite sets of attitudes come from ~
○ conflict with ~ 「～と衝突する」
- ℓ. 6 ◇ At the one extreme are those who believe that ~ 「～と信じる人々が1つの極端にいる」《直訳》
○ extreme 「極端」*n.*
○ 副詞句が文頭に出た倒置形。
cf. Those who believe that ~ are at the one extreme.
○ those who … 「…する人々」
○ believe は直後の that 節と次行の and that ~ の2つの名詞節を目的語としている。
- ℓ. 10 ◇ Some argue that ~ 「～ということを主張する人々もいる」
◇ species lost as a result of applying technology to forests 「科学技術を森林に応用した結果滅びる種」
○ that 節内の主語になる部分。
○ species [spi:ʃi:z] 「種」《単複同形》
○ lost は species を修飾する過去分詞。= species which are lost
○ as a result of ~ 「～の結果」
○ apply A to B 「AをBに応用する」
- ℓ. 11 ◇ are of little or no value 「ほとんど、あるいは全く価値がない」
○ 'of + 抽象名詞' で形容詞と同じ意味を表す用法。
≡ almost valueless / not valuable
cf. of no use = useless / of courage = courageous
◇ unworthy of concern 「考慮の価値がない」
○ unworthy of ~ 「～に値しない」 ⇔ worthy of ~
- ℓ. 12 ◇ ecologist 「生態学者；環境保護論者」
◇ less optimistic 「楽観的ではない」
○ optimistic 「楽観的な」 ⇔ pessimistic 「悲観的な」
- ℓ. 14 ◇ The other extreme involves people who believe that … and that ~ 「もう1つの極端は、…と～を信じる人々を含む」《直訳》
- ℓ. 16 ◇ be based on ~ 「～に基づいている」
◇ a scientific view that sees nature as an orderly and complete machine 「自然を秩序だって完璧な機械と見なす科学的観点」
- ℓ. 17 ◇ humming along … : 付帯状況を表す分詞構文。

- ℓ. 18 ◇ unless ~ 「～の場合を除いて」
- ℓ. 19 ◇ What scientists know today rejects both the “control nature” and “natural balance” theories 「科学者の今日の知識は『自然コントロール』と『自然バランス』説の両方を拒絶する」《直訳》
 ○ reject 「～を拒絶する」
- ℓ. 20 ◇ instead of …ing 「…しないで；…の代わりに」
 ◇ regard A as B 「AをBと見なす」
 ◇ physical world 「物質界」
 ◇ phenomena 「現象」*pl.* 単数形は phenomenon
- ℓ. 21 ◇ as the norm 「基準として」
- ℓ. 22 ◇ exception 「例外」
- ℓ. 23 ◇ Adapting people and their needs to the environment 「人々とその必要を環境に合わせること」
 ○ adapt A to B 「AをBに合わせる」《主部になる動名詞句》
- ℓ. 24 ◇ how to live with ~ 「～との生き方」
- ℓ. 25 ◇ no longer … 「もはや…ない」
 ◇ make a better use of ~ 「～をさらにうまく利用する」
cf. make use of ~ = use ~ 「～を利用する」
 ◇ in accordance with ~ 「～と調和して」
- ℓ. 26 ◇ tendencies 「傾向」
 ◇ so as not to *do* 「…しないように」 = in order not to *do*
 ◇ cause 「～を引き起こす」
- ℓ. 27 ◇ issue 「問題」
 ◇ myth 「神話」
- ℓ. 28 ◇ so that ~ can … 「～が…できるように」《目的》
 ◇ adopt 「～を採用する」
 ◇ based upon ~ : attitudes を修飾する過去分詞。
cf. attitudes which are based upon ~
- ℓ. 29 ◇ To say that ~ is to attack widely spread myths. 「～と言うことは広く流布した神話を攻撃することである。」
 ○ 主語, 補語ともに to 不定詞の形。
 ○ spread 「広がった；流布した」
 ◇ the destruction of tropical forests is not a problem of cutting down trees 「熱帯雨林の破壊は樹木の伐採の問題とは違う」
 ○ the destruction of tropical forests 「熱帯雨林の破壊」destruct の名詞用法。
- ℓ. 31 ◇ preserve *n.* 「① (野菜・果物の) 砂糖煮 ②防塵眼鏡 ③禁漁区；養魚池；天然資源保存地域」
 ◇ principle 「原則」

【3】

解答

(1) b (2) c (3) c (4) b (5) d (6) d

Script

CD 3

M : Why don't we go to the National Aquarium on Saturday? We haven't been there for a long time.

W : Actually, I'd rather go to the National Zoo.

M : Why should we drive all the way to Washington to see the National Zoo when we can
5 get to the National Aquarium in Baltimore in a half hour?

W : Because they don't have any dragons at the aquarium.

M : I'm afraid they don't have dragons at zoos either. We'll have to go to the movies if you want to see dragons.

W : I meant Komodo dragons. They have some at the National Zoo.

10 M : What's a Komodo dragon?

W : It's a giant lizard — the largest living species of lizard in the world. Komodo dragons occur in the wild only on a few small islands in Indonesia. They can grow to be over three meters long and over 150 kilograms in weight. They weigh the most when they have just eaten — they eat up to four-fifths of their own weight at one
15 time.

M : They sound pretty scary. What do they eat?

W : They're carnivorous, you know, meat eaters. When small, they eat insects, small lizards, snakes, and birds. As adults they can kill and eat animals much larger than themselves, such as deer and wild pigs — even people. They have powerful jaws
20 and can eat all but about 12 percent of the animals they kill, even the bones.

M : How did you get so interested in these monsters all of a sudden?

W : I just read an article about them in a science magazine that I get.

インドネシアの2,3の小さな島の未開地だけに生息しているの。体長は3メートル以上、体重は150キロ以上になることもあるわ。何かを食べたばかりのときがいちばん重い。一度に自分の体重の5分の4まで食べるのよ。

男：恐ろしいね。何を食べるの？

女：コモド・ドラゴンは肉食だから、肉を食べるわ。小さいときは昆虫や小さなトカゲ、ヘビ、鳥を食べて、成長するとシカや野生のブタなど、自分よりもずっと大きな動物を食べるの。人さえもね。強力なあごを持っていて、自分が殺した動物の12パーセント以外は全部食べるの。骨までも。

男：どうして突然、そんな変な動物に興味を持ったの？

女：いつも読んでる科学雑誌でたまたま、コモド・ドラゴンに関する記事を読んだの。

男：君がそんなものを好きだとは思わなかったよ。それよりも水族館でまた、あのかわいいラッコを見たくない？

女：そうねえ、赤ちゃんのコモド・ドラゴンもちょっとかわいいわよ。子どものときは、大きな捕食者から身を守るために木に隠れているの。大きな捕食者のなかには、自分より大きなコモド・ドラゴンも含まれていて、チャンスがあれば彼らを食べようとしているのよ。だから、子どものコモド・ドラゴンは彼らに見つからないようにしていないといけないの。

男：成長したやつはどうなの？お互いを食べたりするの？

女：私が知ってるかぎり、それはないわ。でも私が読んだ記事には、2匹の大きなコモド・ドラゴンが闘っている写真が載っていたわ。ほかの種と同じように、交配期には、強いオスどうしが儀式的な格闘をするの。後ろ脚で立って、前脚でお互いをつかんで、相撲取りのように相手を地面に投げ飛ばそうとするのよ。負けたほうは逃げ出すか、ただ地面にじっと横たわっているの。あまりけがをしているようには見えないわ。

男：コモド・ドラゴンは絶滅の危機に瀕している種と考えられているの？

女：そうよ。その雑誌によると、現在は約5,000匹いるわ。でも、どうやら子どもを産むメスはたった7パーセントしかいないらしいの。生息地が大きく減っていて、保護されているけど、まだ違法な捕獲も多いわ。

男：うーん、君のおかげで僕も興味が出てきた。インドネシアにはそんなにすぐには行く予定がないから、国立動物園でコモド・ドラゴンを見よう。

【4】

ポイント

英語は名詞中心の言語だと言われるが、ここでは名詞表現の基本形を確認していこう。

解答・解説

(1) early riser

「私の母は早起きだ。」

○このように〔副詞＋動詞〕を〔形容詞＋名詞〕へと変えるパターンは頻出。early riser や early bird, morning person はいずれも「朝型人間」という意味になる。early bird は「時間に必ず早く来る人」の意味でも用いられ、morning person は主語が you の場

合に使われることが多いとも言われる。

○ 反意語「夜型人間」は, night owl, night bird, night person。

(2) his laziness

「怠けていたため彼は失敗した。」

○ because of の後は名詞が来るため, lazy の名詞形の laziness を利用する。

(3) her decision

「彼女は大統領に立候補する決断をまもなく発表するだろう。」

○ She decides to do it. を her decision to do it と名詞表現化すればよい。

○ run for A 「A に立候補する」

(4) Despite / repeated denial

「彼は繰り返しその噂を否定したが, 誰も彼を信じなかった。」

○ Though (Although) SV ⇔ Despite (In spite of) + 名詞の書き換えは頻出なので覚えておく。あとは〔副詞+動詞〕を〔形容詞+名詞〕に変換すればよい。

(5) influence / crime / society

「この犯罪が社会に与えた影響は大きかった。」

○ S has an influence [effect ; impact] on A. ⇔ the influence [effect ; impact] of S on A という名詞表現への書き換えも頻出。

【5】

ポイント

英語では, 本来, 文である表現を名詞化することがよく見られる。ここでは実際に英文を名詞化してみよう。

解答・解説

(1) the equality of men and women [men and women being equal]

「私は男女の平等に同意します。」

○ equal の名詞である equality を用いるか, are という動詞を being という動名詞にして書き換えていく。後者の場合, men and women が動名詞 being の意味上の主語となる(動名詞の回で詳しく扱う)。

(2) Columbus' discovery of America [the discovery of America by Columbus]

「コロンブスがアメリカを発見した理由を聞いたことがありますか。」

○ discover という動詞を discovery に変えて書き換える。discovery of の of は「目的格関係の of」と呼ばれるもので, discover の目的語を of 以下で示している。

Ex. his love of nature ← He loves nature.

(3) the late arrival of the express train

「急行列車が遅れて着いたため彼は旅程を変えなければならなかった。」

○ arrive という動詞を arrival という名詞にする。arrival of の of は「主格関係の of」と呼ばれるもので, arrive の主語を of 以下で示している。

Ex. the rise of the sun ← The sun rises.

(4) my great eagerness to learn Spanish

「私はスペイン語を勉強したいとやっきになったので、スペイン語の教材をたくさん買い込んだ。」

○ I was eager to *do* を名詞化して, my eagerness to *do* とする。

cf. He is able to *do*. → his ability to *do*

He is willing to *do*. → his willingness to *do*

【6】

ポイント

【4】【5】で学習した様々な名詞化表現（名詞構文）を使った問題を演習していこう。

解答・解説

(1) gave / shake

「彼はピンを軽く振った。」

○ 英語では「ピンに軽い揺れを与える」といった名詞中心の構文をよく用いる。

Ex. He gave the door a kick. (彼はドアを蹴った。)

(2) moment's thought / habitual liar

「一瞬でも考えれば彼がいつも嘘をついていることはわかるでしょう。」

○ if 節の部分は「一瞬の考えがあなたに (that 節の内容) を伝えるでしょう」と読み換える。「嘘をつく習慣がある」は、「習慣的な嘘つき」と、〔形容詞＋名詞〕の表現に読み換える。

(3) unfair treatment

「彼らは不当な扱いに文句を言った。」

○ 「不当に扱われる」→「不当な扱い」と読み替える。なお treatment には「取り扱い」の意味のほかに「治療」という意味もある。

(4) her family(s) being

「彼女は自分の家庭が貧しいことを恥じていない。」

○ 前置詞 of の後なので名詞節である that 節を名詞句（この場合は動名詞）に変える。
her family は動名詞の意味上の主語となる（詳しくは動名詞（準動詞）で扱う）。

(5) asked / height of

「先生は富士山の高さを私に尋ねた。」

○ 「富士山がどのくらい高いのか」という名詞節を名詞句「富士山の高さ」と変える。
height [háit] は発音に注意。

(6) selfish refusal

「彼は利己的にも彼らの申し出を断ったので、彼らの怒りを買った。」

○ 「十分に利己的で断った」という内容を「利己的な拒絶」という名詞表現〔形容詞＋名詞〕に書き換える。

○ refuse < refusal *n.*

(7) admiration for / blinded

「彼は彼女の美しさに見とれるあまり、彼女の欠点が見えなくなった。」

○ 「彼女の美しさへの彼の賞賛が、彼に欠点が見えなくさせた」と考える。

- blind A to B 「Bに対して A の目を眩ませる」
- admire < admiration *n.*

(8) several vain

- 「我々はモンブラン登頂を何度か試みたが無駄だった。」
- 「何度かの無駄な試み」と読み換えればよい。

今日の一言

Good swimmers are oftenest drowned.

「得意に鼻突く。」

Good swimmers は直訳だと「よい泳ぎ手」となるが、このように英語では名詞表現が比較的多用される。日本語は、英語のような〔形容詞＋名詞〕ではなく、〔副詞＋動詞〕が中心の言葉だと言われるため、英語の名詞表現は動詞化した方が訳しやすくなることが多い。つまり、「泳ぎが上手い(人)」と読み替えるのである。これを名詞構文と呼ぶ。皆の中には、周囲に英語が出来る人がたくさんいて圧倒されているように感じている人もいるかもしれないが、出来るように思われる人ほど失敗も多くしているかもしれない。まさに Good swimmers are oftenest drowned. である。何であれ謙虚に学ぶ態度が大切だ。テキストで間違えた問題は謙虚に反省し、しっかりと復習をしていこう。